

2009年9月1日
日本原燃株式会社

再処理施設の工事計画に係わる変更の届出について

当社は、再処理施設の工事計画を下記のとおり変更し、8月31日、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、経済産業大臣に対し、再処理施設の工事計画に係わる変更の届出を別紙1のとおり行いました。

記

○工事計画

再処理施設のしゅん工時期

「平成21年8月」から「平成22年10月」へ変更。

これに伴い、平成21年1月に届出を行いました「再処理施設の使用計画」を別紙2のとおり変更しました。

(別紙)

別紙1： 再処理施設の工事計画

別紙2： 再処理施設の使用計画

別紙3： 再処理施設の工事計画・建設コストの変更経緯

別紙4： 「再処理施設の工事計画」の変更に関わる今後の作業内容について

以 上

五、再処理施設の工事計画

平成年度 月	5												6												7												8												9												10												11												12																																																											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																								
項目																																																																																																																																																
主 要 工 程 工																																																																																																																																																

[illegible]

主 要 工 程	平 成 年 度	21												22											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	項 目	▲ し ゅ ん 工																							

(注) (1) 使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の試験のために、使用済燃料(約 50 t・Upr)を受け入れる。
(2) ウラン試験は、劣化ウランを用いた模擬燃料集合体等(約 60 t・U)を使用して行う試験をいう。
(3) しゅん工とは、再処理設備本体等に係る使用前検査の合格をいう。
(4) 使用済燃料輸送容器保守設備及びそれに係る設備は、再処理事業開始後50か月以内に設置する。
(5) 第1ガラス固化体貯蔵建屋西棟及び西棟に係る施設は、しゅん工後3年以内に設置する。

再処理施設の使用計画

○変更前（2009 年 1 月 30 日届出）

【単位：tU】

年度	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)
受入れ量	331	290	430
再処理量	160	320	480
貯蔵量	2676	2646	2596

（再処理量が 800tU に到達するのは 2013 年度（H25）の予定。）

○変更後（2009 年 8 月 31 日届出）

【単位：tU】

年度	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)
受入れ量	241	90	80
再処理量	0	80	320
貯蔵量	2742	2752	2512

（再処理量が 800tU に到達するのは 2014 年度（H26）の予定。）

再処理施設の工事計画・建設コストの変更経緯

年月日	タイミング	ウラン試験の 開始時期	変更 回数	アクティブ試験の 開始時期	変更 回数	再処理施設の 竣工時期	変更 回数	建設コスト	変更 回数
昭和59年7月27日	立地申入れ(電事連)	-----	----	-----	----	平成7年頃	----	-----	----
平成元年3月30日	事業指定申請	平成8年4月	----	平成9年4月	----	平成9年12月	----	0.76兆円	----
平成2年10月18日	一部補正	平成9年2月	1	平成10年2月	1	平成10年10月	1	同上	
平成3年7月30日	一部補正	平成9年12月	2	平成10年12月	2	平成11年8月	2	同上	
平成4年11月16日	一部補正	平成10年5月	3	平成11年5月	3	平成12年1月	3	同上	
平成4年12月24日	事業指定	同上		同上		同上		同上	
平成8年1月25日	工事計画変更届出	平成13年5月	4(1)	平成14年5月	4(1)	平成15年1月	4(1)		
平成8年4月26日	事業変更許可申請	同上		同上		同上		1.88兆円	1(1)
平成11年4月26日	工事計画変更届出	平成15年10月	5(2)	平成16年7月	5(2)	平成17年7月	5(2)	2.14兆円	2(2)
平成14年9月27日	工事計画変更届出	平成15年6月	6(3)	同上		同上		同上	
平成15年6月27日	工事計画変更届出	平成15年10月	7(4)	同上		同上		同上	
平成15年9月19日	工事計画変更届出	平成16年1月	8(5)	平成17年2月	6(3)	平成18年7月	6(3)	同上	
平成16年1月30日	工事計画変更届出	平成16年4月	9(6)	平成17年4月	7(4)	同上		同上	
平成16年4月30日	工事計画変更届出	平成16年6月	10(7)	平成17年6月	8(5)	同上		同上	
平成16年6月28日	工事計画変更届出	平成16年7月	11(8)	平成17年7月	9(6)	同上		同上	
平成16年7月29日	工事計画変更届出	平成16年8月	12(9)	平成17年8月	10(7)	同上		同上	
平成16年8月31日	工事計画変更届出	平成16年9月	13(10)	平成17年9月	11(8)	同上		同上	
平成16年9月28日	工事計画変更届出	平成16年10月	14(11)	平成17年10月	12(9)	同上		同上	
平成16年10月27日	工事計画変更届出	平成16年11月	15(12)	平成17年11月	13(10)	同上		同上	
平成16年11月29日	工事計画変更届出	平成16年12月	16(13)	平成17年12月	14(11)	同上		同上	
平成17年3月28日	工事計画変更届出	同上		同上		平成19年5月	7(4)	2.19兆円	3(3)
平成17年11月18日	工事計画変更届出	同上		平成18年2月	15(12)	平成19年7月	8(5)	同上	
平成18年2月20日	工事計画変更届出	同上		平成18年3月	16(13)	平成19年8月	9(6)	2.193兆円	4(4)
平成19年1月31日	工事計画変更届出	同上		同上		平成19年11月	10(7)	同上	
平成19年9月7日	工事計画変更届出	同上		同上		平成20年2月	11(8)	同上	
平成20年2月25日	工事計画変更届出	同上		同上		平成20年5月	12(9)	同上	
平成20年5月29日	工事計画変更届出	同上		同上		平成20年7月	13(10)	同上	
平成20年7月30日	工事計画変更届出	同上		同上		平成20年11月	14(11)	同上	
平成20年11月25日	工事計画変更届出	同上		同上		平成21年2月	15(12)	同上	
平成21年1月30日	工事計画変更届出	同上		同上		平成21年8月	16(13)	同上	
平成21年8月31日	工事計画変更届出	同上		同上		平成22年10月	17(14)	同上	

()内は、事業指定後の変更回数

「再処理施設の工事計画」の変更に関わる今後の作業内容について

＜工程見直しの基本的考え方＞

○今回の工程見直しでは、安全を最優先にアクティブ試験およびその再開に必要な復旧作業に、慎重かつ着実に取り組むことが基本

- (1) これまでのガラス固化施設の試験、セル内作業の実績を踏まえ、試験や復旧作業に付随するリスクを洗い出し、その対応策を予め講ずる
- (2) 今後の試験、操業に向けて、固化セル内の機器の点検を徹底的に行う（必要に応じて補修を実施）
- (3) ガラス固化試験の安定運転に万全を期すため、実規模モックアップ試験施設（KMOC）を活用し、データの収集、分析を実施する

	2009年12月までを目途	2010年7月までを目途	2010年10月までを目途
	<p>●セル内機器点検及びレンガ回収</p> <p>年内を目途にセル内機器の点検、レンガの回収、溶融炉からのガラス抜き出しを実施</p>	<p>●溶融炉内残留物除去作業及びセル内機器点検</p> <p>溶融炉内の残留物の除去および円滑な試験に万全を期すためのセル内機器の点検を再実施し、2010年7月を目途にアクティブ試験再開を準備</p>	<p>●ガラス固化施設のアクティブ試験</p> <p>不溶解残渣を含まない高レベル廃液から試験再開し、データを取得しつつ不溶解残渣を含む高レベル廃液のガラス固化試験を行い2010年10月にしゅん工</p>
主な作業等	<div style="text-align: center;"> <p>① セル内洗浄作業</p> <p>↓</p> <p>②セル内機器点検</p> <p>↓</p> <p>③熱上げ・レンガ回収</p> <p>↓</p> <p>④ガラス抜き出し・放冷 (溶融炉内観察)</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>⑤セル内機器点検</p> <p>↓</p> <p>⑥溶融炉内残留物除去 (溶融炉内観察)</p> <p>↓</p> <p>⑦セル内機器点検</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>⑧再熱上げ</p> <p>↓</p> <p>⑨ガラス固化試験</p> <p>↓</p> <p>A T 報告書提出</p> <p>↓</p> <p>しゅん工</p> </div>
作業リスクの対応等	<p>②セル内機器点検（レンガ回収熱上げ前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱上げ前の機器の確認 - 高レベル廃液漏えいに係る対応として実施することとした固化セル内の機器の点検(固化セル内約 400 機器のうち約 220 機器を対象)を洗浄作業後に継続して実施 - 点検した機器の一部については洗浄作業による影響の有無を確認するために再度点検を実施 ・予備品の先行手配 <p>③レンガ回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種要素試験、モックアップ試験を通じた回収装置の改良 ・レンガ回収訓練の徹底 ・複数回のレンガ回収期間を設定 	<p>⑥溶融炉内残留物除去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残留物除去作業のガラス残留量を前回の2倍と想定 ・「現行残留物除去装置」に加え「高効率残留物除去装置」を準備 ・残留物除去作業訓練の徹底 <p>⑤⑦セル内機器点検（ガラス固化試験・熱上げ前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラス固化試験の熱上げ前の計画的な再点検を段階的に実施 	<p>⑨ガラス固化試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラス固化試験の安定運転に万全を期するため、実規模モックアップ試験施設(KMOC)を活用し、データ収集、分析の実施